

能勢ささゆり学園 能勢小学校 学校だより

ささゆり

発行 第11号 令和4(2022)年2月22日



学校教育自己診断結果 (2月実施:回答数202/児童数266 回収率76%)

保護者の皆様におかれましては、診断アンケートへご回答、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。結果と分析については全教職員で共有し、今後の教育活動の改善に生かしてまいります。今後とも、ささゆり学園へのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

| | 設 問 | 肯定的回答 | | 否定的回答 | |
|----|-------------------------------|-------|-----|-------|----|
| | | A | B | C | D |
| 1 | 学校は、子どもに基礎学力をつけようと工夫している。 | 43% | 45% | 11% | 1% |
| 2 | 学校は、子どものよさを認め、個性を伸ばそうとしている。 | 40% | 49% | 11% | 0% |
| 3 | 学校は、健やかな体をもった子どもを育てようとしている。 | 46% | 46% | 7% | 0% |
| 4 | 学校は、人権・生命を大切に作る心を育てようとしている。 | 45% | 48% | 7% | 0% |
| 5 | 学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしている。 | 38% | 50% | 12% | 0% |
| 6 | 学校は、「いじめ」のない学校づくりに取り組んでいる。 | 31% | 51% | 17% | 3% |
| 7 | 学校は、子どもの安全と健康を守ろうとしている。 | 37% | 50% | 12% | 2% |
| 8 | 学校は、施設・設備など、学習環境の整備に努めている。 | 49% | 40% | 8% | 2% |
| 9 | 学校行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。 | 43% | 46% | 10% | 0% |
| 10 | 先生は、子どもをよく理解してくれる。 | 48% | 39% | 12% | 1% |
| 11 | 先生は、子どもの能力や努力を適切に・公平に評価している。 | 49% | 43% | 8% | 1% |
| 12 | 子どもは、学校へ行くのを楽しんでいる。 | 57% | 31% | 11% | 1% |
| 13 | 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。 | 42% | 40% | 16% | 2% |
| 14 | 子どもは、自分の学級は楽しいと言っている。 | 60% | 32% | 8% | 1% |
| 15 | 子どもは、給食をおいしいと言っている。 | 49% | 38% | 9% | 3% |

全般にわたって

●全15の設問中、昨年比で肯定的回答と否定的回答に5%以上の変動があった項目は太数字で示しています。5%以上肯定的回答が増えた項目(A)が5つ、5%以上否定的回答が増えた項目(B)が3つありました。

- A: 項目 2 「よさを認め個性を伸ばす」 +6%
 項目 11 「公平な評価」 +7%
 項目 12 「学校へ行くのが楽しい」 +5%
 項目 14 「自分の学級が楽しい」 +6%
 項目 15 「給食はおいしい」 +5%
- B: 項目 1 「基礎学力をつける」 -5%
 項目 7 「子どもの安全と健康を守る」 -7%
 項目 8 「施設・設備等学習環境の整備」 -6%



学力・評価について 項目①、⑪、⑬

- ・基礎学力の充実①は-5%、評価⑪は+7%、楽しく分かりやすい授業⑬は+3%でした。自主学習の取組を学校全体で組織的に進めてきています。基礎学力の定着、家庭学習の習慣化に向けてさらなる工夫をしております。そして、より授業がわかりやすく、子どもの力を引き出し、自ら学ぶ力をつけていく授業づくりに努めてまいります。
- ・タブレットの有効活用等、より深い学びを追求する授業、子どもが主体的に活躍できる授業づくりを進めてまいります。

人権・社会規範について 項目④、⑤、⑥

- ・人権④と社会のルール⑤は昨年と大きく変化はありませんでした。④については、多様性の尊重や自他を大事にする取組を進めていく中で改善を図り、様々な人々との出会いの機会を増やしてまいります。
- ・一方で「いじめ」のない学校⑥は-4%でした。⑥のCが17%、Dが3%という結果を重く受け止めています。
- ・毎月の「いじめ」調査と報告、月1回の「いじめ問題対策委員会」(ささゆりトラスト)、学期ごとの生活アンケート等、学校全体でいじめを「させない・見逃さない・許さない」を徹底し、実践していきます。

健やかな体・安全・学習環境整備について 項目③、⑦、⑧

- ・健やかな体③は昨年と大きな変化はありませんでした。オノマトペ体操・水泳・体育参観・マラソン記録会など感染対策に細心の注意を払いながら体力づくりの教育活動を進めてきました。
- ・安全と健康⑦は-7%、施設・設備・学習環境⑧は-6%、昨年度と比べて5%以上のマイナスとなりました。
- ・コロナ禍が長引き、1月から感染が急拡大する中、保護者・児童の不安や心配の声がありました。できるだけ不安の少ない中で学校生活を送れるように、ソフト面、ハード面に注意を払ってまいります。昨年度に引き続き4人の臨時職員が、校舎・トイレ消毒等に従事しております。

楽しい行事・学校・学級について 項目⑨、⑫、⑭

- ・学校行事⑨は昨年度と大きな変化はありませんでした。
- ・学校が楽しい⑫は+5%、学級が楽しい⑭は+6%については、昨年を大きく上回りました。子どもたちの個性や良さを引き出し、仲間と共に楽しめる活動を工夫して行ってきました。
- ・修学旅行、海洋学習、デイキャンプ、バス遠足、学習発表参観、ささゆりまつり等を開催できました。子ども自身が夢中になり、自分も仲間も楽しめる行事、異学年交流など、創意工夫した取組を展開してまいります。

個性尊重・子ども理解・給食等について 項目②、⑩、⑮

- ・個性伸長②は+6%は昨年を大きく上回りました。どの子にも居場所があり、居心地のよい学校・学級づくりを行っています。さらに取組を進めます。
- ・先生の子ども理解⑩は、少し向上しました。個性を尊重し、子どもの考えや発想を理解し、さらに成長できるように研修と指導を進めます。
- ・給食⑮については、6%増えました。肉類の頻繁な登場は予算上難しいのですが、能勢らしい食材・季節感・伝統の味も大切にしながら、さらに子どもが満足のいく給食を目指していきます。

